

# カラフルな一斉放水

わたしたちは、津軽海峡の青い海と美しいみどりの丘と、太陽に恵まれた本州の最北の地に住む大間町の町民です。

先人の力と汗の偉業をたたえ、自然をいつくしみ、郷土を愛し、自覚と責任をもって、文化的でたくましく、豊かで明るく、うるおいのある住みよい町にするためにこの憲章を定め実践します。

1. 健康でよく働く豊かな町をつくりましょう。
1. きまりを守り、明るく住みよい町にいたしましょう。
1. 教養と文化の高い清らかな町をめざしましょう。
1. 互いに話し合う平和でなごやかな町をきずきましょう。
1. 人を愛し、まことをつくすしあわせな町に育てましょう。

# 平成23年度大間町消防団定期観閲式

4月30日（土）、大間町消防団定期観閲式が大間港を会場に開催されました。

当日は、東日本大震災で亡くなった方々へ黙祷を捧げてから開始され、ポンプ操法やまとい振りでは、各団ともに日頃の練習の成果を発揮し、喝さいを博していました。

また、幼年消防クラブの演技では、大間幼稚園と大間保育園の園児達が、大勢の観客が見守る中、太鼓演奏から始まり、ちびっこ消防士・救急救命士、ちびっこレスキュー隊が登場したり、園児による大人顔負けの纏い振りなどで会場を沸かせました。



がんばろう日本



決まったー！



ちびっこ救急救命士出動



ちびっこレスキュー出動



大人顔負けの纏い振り



手本の纏い振り



婦人消防クラブの皆さん



恒例の自衛隊音楽隊





# 内山公園桜まつり



5月14日（土）、大間町観光協会主催による内山公園桜まつりが開催されました。

当日は、肌寒い曇り空の下での開催になり、開催に先立ち、東日本大震災で犠牲になられた方々へ黙祷が捧げられ、会場の一部では「がんばろう！日本！がんばろう！東北！」の横断幕が掲げられ義援金を受け付けられ、たくさんの善意が集まりました。

オープニングは琴演奏愛好会による芸能発表で始まり、その後のカラオケ大会では、たくさんの参加者が、自慢の歌声を披露しました。

歌謡ショーでは、歌手の八木橋つよしさん（平川市出身）、城山さとみさんが熱唱し会場を盛り上げました。

また、当日は「特産牛焼肉デー」と題し、大間牛を販売。会場のあちこちでバーベキューと一緒に花見を楽しんでいました。



大間牛、美味しいよ！



これから見ごろかな？

## がんばれ日本！ がんばれ東北！

5月16日（月）、大間町観光協会（大見光男会長）が町長室を訪れ、14日（土）に行われた桜祭り会場で集められた義援金104,411円（桜祭り会場 56,811円、ボンボリ 47,600円）を手渡しました。

義援金は、桜祭り会場で集められたほか、桜祭り会場までの道路脇に設置されているボンボリの設置収益の一部も義援金に当てられ、日本赤十字社大間分区分区を通して、被災地へ送られます。



義援金を手渡す、大見会長

## 自然を学ぶ！ 川蝉会・奥戸小合同イワナ稚魚放流

平成23年5月6日（金）、自然体験学習の一環として奥戸小6年生によるイワナの稚魚の放流が行われました。

恒例となった放流事業は、ボランティア団体「川蝉会」（会長 佐藤信彦）が2005年から同校を対象に行っている自然学習事業で、今年度は1,500匹の稚魚を奥戸川の澄んだ流れに放流しました。

児童達は放流のほかにも、林道でのごみ拾いや成魚つかみ捕りを体験し、悪戦苦闘しながらイワナやヤマメを捕まえていました。捕まえた川魚は自分達でさばき塩焼きにして美味しく食べました。

「地元の自然を体験学習することで、自然を愛し大事にする心を養ってもらいたい」と佐藤会長が語ってくれました。また、川蝉会はこの他に、奥戸小5年生を対象に自然学習会を行い、来年度の放流につなげていく予定です。



大きくなってね！



美味しい！



みんな頑張りました！

## 大間町放課後子ども教室開催

### 事業目的

子ども達を対象として、放課後や週末等に小学校や町施設を活用し、安心安全な子どもの活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、子ども達にスポーツ、文化芸術活動、地域住民との交流活動等の機会を提供することにより、子ども達が地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進します。

### 開催日時

大間地区 大間小学校 15:00～17:00（原則として毎週木曜日）  
大間町立公民館 9:00～12:00（原則として毎週土曜日）  
奥戸地区 農業研修センター 9:00～12:00（原則として毎週土曜日）

\*内容等は小学校を通じて児童に連絡します。

### 2011年度 弘前大学公開講座 参加者募集

テーマ 「外国事情と日本」

趣旨 外国から青森へ学びに来る青年の生活、各国の諸事情について学習することを通して、大間町とその近隣の地域が直面しているさまざまな課題について見つめ直す機会とする。

主催 弘前大学生涯学習教育研究センター、大間町教育委員会

日時 平成23年9月22日（木）18:30～20:00  
平成23年10月12日（水）18:30～20:00  
平成23年11月15日（火）18:30～20:00

場所 北通り総合文化センター「ウイング」

講師 9月22日 留学生の生活事情 小山宣子 氏（国際交流センター准教授）  
10月12日 アフリカの遊牧民に学ぶ 曾我享 氏（人文学部准教授）  
11月15日 中国産食品の輸入と日本 石塚哉史 氏（農学生命科学部准教授）

対象 一般

受講料 無料

\* 申込みは、教育委員会まで ☎37-2103 担当：古畑

## 今月のあいさつ運動

～児童生徒をみんなで見守りましょう～

6月23日（第4木曜日） 午前7:10～7:40

<大間地区>・大間小学校前交差点・町営住宅前交差点・大間保育園前交差点  
<奥戸地区>・電源開発奥戸分所付近

### 大間町学力向上研究会

大間中学校

#### 「家庭学習の手引き」

「勉強したことは、覚えていなければテストなどができる。知識を頭にたたき込み、問題を解きながらそれを『使える知識』に変えていくことが大切だ。」

大間中学校では「家庭学習の手引き」を作成し、次の五点を「勉強の基本原則」として掲げています。

#### 一 まずはポイントをとたたき込む

例えば、国語の漢字。英語の単語や熟語、基本文とその文法。数学では計算などの練習問題。社会では年号や教科書に太字で書かれている重要語句。理科では化学式や重要語句。これらは「覚える」（暗記すること）が大切です。単に教科書をながめているだけではなく、覚えるべきポイントをノートに何度も書き続けていくことが、暗記のポイントです。

二 問題を解いて、実践力を身につける



ある程度、頭に入ったら次は頭の中の知識を出すことが必要です。問題集を使って実践形式の練習をすることが大切です。

三 学んだことは、何度も繰り返す  
忘れてしまうことに負けず、それ以上に繰り返し、何度も覚えるのです。

四 毎日、必ず勉強する  
毎日続けることが、実は最も自分の将来にプラスとなる。そう信じよう。

五 何のために勉強するのかを考える  
学び続けることができるのは人間だけです。厳しい現実にも立ち向かうことができる強い人間になろう。



大間幼稚園

「なんでも食べて元氣な子に！」

・教育目標「がんばる子やさしい子・げんきな子」  
・努力目標に「話をよく聞き、考えて行動できる子・友達と仲良く遊べる子・丈夫な体を持つ子」の3つを掲げ、今年度は特に、  
1. 食育指導・2. 考える力を育てることを中心にして取り組んでいます。また、町から就学前の園児の健全な成長を目的にきめ細かな子育て支援事業として、4・5歳児クラスに新たに二人の先生が配置され、保育に当たっています。

「食育指導の紹介」  
「学習畑では。。。」

5月9日に祖父母と「ふれあい芋まき」を行いました。おばあちゃん達に肥料を入れてもらってから、うねにじゃが芋を入れ手で土をかけました。こども達は、芋が元気に育つための肥料が必要なことを学びました。秋には、祖父母と芋

掘りを行い、収穫の喜びを味わう予定です。

次に、トマト・きゅうりなす・ピーマン・ブロッコリー・カリフラワー・さつまいも・かぼちゃ・夕顔などの苗を植え、にんじんの種も蒔きます。水やりなどの世話をし、花が咲いた。実がなったなど友だちと一緒に育て生長の様子を楽しみに観察します。収穫した物は、みんなと一緒に食べるとおいしいという体験を積み重ねることによって、野菜嫌いな子も「食べてみようかな」と挑戦する気持ちを育てることにつながっていきたくと考えています。



「さあ、芋に土をかけよう」

「♥お弁当♪お弁当♪うれしいな戸」

お昼は、お母さんの手作り弁当を食べるのがとても楽しみな時間です。お母さ



「ほくのサンドイッチ見て」



「外で食べて遠足気分」

ん方は、喜んで食べるように野菜も入れてキヤラクター弁当にしたり、おにぎりを食べやすい大きさにしたりと工夫をしてくれています。「今日は、おにぎりもつてきた」「たこウインナーだよ」「おんなじ！」と嬉しそうにする子ども達、「野菜は、入っているかな?」「入っている」「ひじきといっしょに入っているね」など、お弁当の時間

は嬉しい笑顔が溢れています。お弁当には次の3つの栄養が入っているとバランスよく食べられます。

1. 体を動かす元となる食物  
＜麺・ご飯・パンなど＞
2. 体が大きくなる食物  
＜魚・肉・卵、豆腐など＞
3. 体の調子を整え、いいウンチがでる食物  
＜野菜・味噌汁・果物など＞

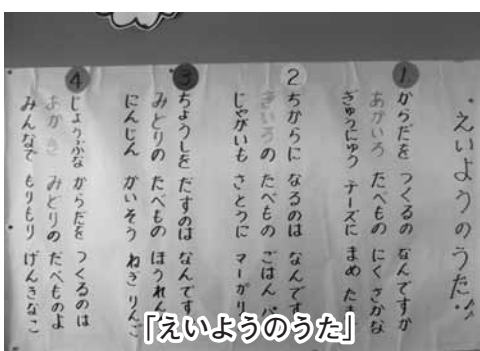
子ども達が歌う「栄養の歌」には、これらのことが入っているのです。歌って関心を持たせて、何でも食べようという気持ちを持たせられるように指導しています。嫌いな食べ物が多いとお弁当の中がいつも同じようになってしまうという悩みの声も聞かれます。それを解決するためにも、少しずつ苦手な野菜も入れて食べる機会を作ってくれるようにお願いしているところですよ。

「箸は親が手本を」

毎日食べる時に使っている箸ですが、正しく持てる

子どもは少ないです。箸は、指先の発達に関連するもので、6歳頃まで完成すれば良いと食育出前講座で教えてもらいました。特に親子と一緒に食卓を囲み、親が正しい持ち方で食べている姿を見せるのが、子どもにとって一番の教師だと、教授が力説していました。

食べることは、生きていくためには大切なものです。生涯にわたって心身ともに健康な生活を送るためにも望ましい食習慣の形成が欠かせないです。食生活の土台の多くは家庭で作られる事を考える時、園での指導だけでなく、家庭と一緒に何でも食べようとする気持ちを育てていきたいと考えています。



「えいようのうた」

# ＋ 病院だより No.160

今月の担当医

院長 丸山 博行

## 大間病院での7年を振り返って

突然ですが、来月（平成23年7月）より自治医科大学消化器・一般外科で働くことになりましたので、平成16年4月に大間病院に赴任してからの約7年を振り返ってみたいと思います。

院内業務では、①手術を再開したこと。②医学生の実習や研修医の研修を積極的に受け入れたことの2つをあげたいと思います。①平成16年5月に外科医である“渡邊千之先生（現 河北総合病院長）”が大間病院に赴任され、一緒に手術に関する院内勉強会を開催し、そして手術を再開したことを覚えています。②弘前大学医学部や自治医科大学医学部などの学生や大阪市立大学医学部附属病院、八戸市立市民病院、青森県立中央病院、むつ総合病院、弘前大学医学部附属病院などの研修医を受け入れ、実習や研修の最後の週に院内で実習（研修）発表会を開催し、“学生や研修医からみた大間病院”を評価してもらっています。特に弘前大学の学生や研修医の場合、弘前大学とテレビ会議システムを用いて大学の先生方にも参加していただいています。

院外業務では、①北通り医療連携会議を開催し、佐井診療所を大間病院に統合したこと。②北通り救急研究会を立ち上げたこと。③北通り地域医療研究会が立ち上がったことの3つをあげたいと思います。①大間病院、風間浦診療所、佐井診療所の医師、看護師、事務長が参加し、平成17年9月7日～平成20年2月26日までの計34回会議を行い、佐井診療所を大間病院に統合しました。このことにより将来的に安定した医療が北通り3ヶ町村に提供できると考えています。②大間病院の医師と北通り3ヶ町村の救急救命士が月に1度集まり、北通りの救急医療について話し合いを行っています。平成17年度には心肺蘇生法講習会を3回開催しています。③平成18年8月に青森県の提案で発足し、平成20年1月19日と平成22年1月23日に“北通り地域医療フォーラム”を開催したり、平成20年10月18日より年に1度、“もの忘れフォーラム in 下北北通り”を後援しています。また、月に1度、地域医療教室を開催し、「上手な病院のかかり方」、「あたらなための血圧の話とメタボの話」、「認知症にならないために」などをテーマに講演を行い、最近では“認知症サポーター養成講座”を兼ねて「認知症は病気です」をテーマに講演しています。北通り地域医療研究会が立ち上がったことは今後の北通り3ヶ町村の安定した医療の継続に大きな意味を持っていると考えています。キーパーソンが医師ではないことが“継続の意味”で大きいと考えています。

自治医科大学を卒業してから、青森県立中央病院での初期研修と自治医科大学消化器・一般外科での後期研修を除いて地域医療に従事してきました。これからはしばらく外科専門医として医療に従事し、研究などもしてみたいと考えています。そして一回りも二回りも大きくなって、将来再び青森県の地域医療に貢献できればと考えています。その時はよろしく申し上げます。佐井診療所にいた3年間を含めると通算10年、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

## ～テレビについての大切なお知らせ～

# 2011年7月24日 アナログ放送が終了します

2011年（平成23年）7月24日までに今までのテレビ放送（地上アナログ放送）は終了します。それ以降は、アナログテレビをお使いの方は、そのままではテレビ放送（デジタル放送）を見ることができません。

地上デジタル放送を視聴するには、①地上デジタル放送対応のテレビに買い換える、②地上デジタルチューナーを買い足すといった方法があります。①②については、UHFアンテナが新たに必要となる場合があります。

詳しくは、(社)デジタル放送推進協会のホームページをご覧ください。か、総務省地デジコールセンターまでお問い合わせ願います。

・(社) デジタル放送推進協会 <http://www.dpa.or.jp/>

・総務省地デジコールセンター

☎0570-07-0101（ナビダイヤル）

IP電話等、上記番号でつながらない場合は、03-4334-1111

平日午前9時～午後9時、土日祝日午前9時～午後6時

また、経済的な理由で地上デジタル放送がまだ受信できない世帯に、地上デジタル放送簡易チューナーを国が無償給付する制度がありますが、市町村民税非課税世帯も対象になり、支援の申し込み期間は平成23年7月24日までです。

### 今までの対象世帯

○生活保護などの公的扶助を受けている世帯

○障害者がいる世帯で、かつ世帯全員が市町村民税非課税の措置を受けている世帯

\*上記の世帯の中でNHKの受信料が全額免除されている世帯が対象です。

☎ 住民福祉課 ☎37-2111（内線25）

### 新たに対象となった世帯

○市町村民税非課税世帯

☎ 企画経営課 ☎37-2111（内線53）



## 4月18日の「3歳児健診」にて虫歯ゼロの子を紹介します



平成22年度の3歳児健診では、7割のお子さんが虫歯を持っているという状況であり、虫歯がある子が非常に多いです。

乳歯の虫歯は、このあとで生えてくる永久歯にも大変悪い影響を及ぼします。もちろんお子様の健康や発育にもよくありません。常にお子様のお口の中を観察し、虫歯ゼロをめざしましょう。



♡ 伊藤 <sup>あき</sup> 愛絆ちゃん    ♪ 郷 <sup>たくま</sup> 拓磨くん    ♪ 濱田 <sup>せな</sup> 晟那くん    ♡ 山崎 <sup>あやな</sup> 紋奈ちゃん

※虫歯ゼロの子は全員で7人いました。残りのお子様のお写真は7月号の保健だよりに掲載いたします。

### 1歳6ヶ月児健診

日 時 6月10日(金)  
対象者 平成21年9月～21年12月生  
場 所 総合開発センター

### BCG・三種混合予防接種

日 時 6月13日(月)  
対象者 BCG  
平成22年12月14日～平成23年3月13日生  
三種混合  
平成15年12月14日～平成23年3月13日生  
場 所 大間病院外来

### 特定健診・がん検診

日 時 6月19日(日)  
場 所 総合開発センター  
受付時間 6:00～9:00  
※申込みしていない方で、受診を希望される方は、大間町役場住民福祉課までご連絡下さい。



### サロンぬくもり

日 時 6月7日(火) 6月21日(火)  
7月5日(火)  
場 所 大間町公民館2階  
時 間 13:00～15:00  
上記日程にて、開催します。精神保健福祉ボランティアがお待ちしています。



## 6月の保健行事

### Hib・小児用肺炎球菌ワクチン予防接種

日 時 6月6日(月)・6月24日(金)  
6月6日の対象者(どちらも)  
平成18年6月7日～平成23年4月6日生  
6月24日の対象者(どちらも)  
平成18年6月25日～平成23年4月24日生  
場 所 大間病院外来



### 婦人がん検診

日 時 6月14日(火) 6月21日(火)  
場 所 6月14日に受診される方  
→総合開発センター  
6月21日に受診される方  
→奥戸農業研修センター  
受付時間 11:30～13:30  
※6月の申込みの受付は終了しました。10月18日の申込みについては受付しております。

### 心の健康相談

日 時 6月7日(火) 7月5日(火)  
場 所 大間町公民館2階  
時 間 13:00～15:00  
毎月第1火曜日のサロンぬくもりの際、保健師が心の健康相談を受け付けています。

### Hibワクチン、肺炎球菌ワクチンの予防接種を希望される方へ

Hib、肺炎球菌ワクチンともに任意での接種となっているため、対象者全戸への通知はしておりません。そのため、接種を希望される方は「いつ」「どちらのワクチンからの接種をするか」をご検討の上、大間町役場住民福祉課までご連絡下さい。ご連絡いただいた方々に対しては、後日通知文書を送付いたします。

※大間町では、Hibと肺炎球菌ワクチンの同時接種は行っていません。

## <6月1日～30日は土砂災害防止月間です！>

国土交通省と各都道府県では、毎年6月1日から30日までを『土砂災害防止月間』と位置づけ、本格的な豪雨の時期を前に、土砂災害による被害防止に向けて様々な防災・広報活動を実施しています。

青森県内には、約4000箇所もの土砂災害危険箇所があります。山あいに溜まった土砂や巨石が雨で増えた沢水と一緒に流れ落ちる『土石流』、地下水が溜まりすぎて地盤全体がすべり落ちる『地すべり』、雨を含んで脆くなった崖が唐突に崩壊する『がけ崩れ』……どれも強い雨が原因となり、山や崖がある地域ではどこでも起こる可能性があります。

昨年度は日本各地で土砂災害が発生し、そして多くの犠牲者が出ました。中には、地域の避難所へ避難していただかなかった命もたくさんあったと言われています。「今まで経験したことのないような強い雨が降っている」ときは「今まで経験したことのない災害が起こるかもしれない」と心に留め、正しい危機意識と早期避難で土砂災害による被害ゼロを目指しましょう。

連絡先 生活整備課 ☎37-2111

青森県 県土整備部 河川砂防課 砂防グループ ☎017-734-9670

参考URL (青森県ホームページ・平成23年度土砂災害防止月間)

<http://www.pref.aomori.lg.jp/kotsu/build/H23doshagekkan.html>

## 求む！君の勇気と正義感

### 警察官A（大卒）を募集します！

青森県人事委員会及び青森県警察本部では、警察官Aの採用試験を行います。採用予定人員、受験資格等は次のとおりです。

受付期間 5月30日（月）～6月24日（金）  
第一次試験 7月10日（日）  
試験場所 青森市

試験種別	採用予定人員	受 験 資 格
警察官A（男性）	未定	昭和54年4月2日以降に生まれた者で、学校教育法による大学（短期大学を除く。）を卒業した者又は平成24年3月31日までに大学を卒業する見込みの者。
警察官A（女性）	未定	

なお、警察官A（男性）のみ、警視庁、埼玉県、千葉県、神奈川県及び静岡県の警察官を志望する人も同時に受験することができます。（受験資格は志望する都県によって異なるので、それぞれの都県に問い合わせてください。）

また、受験資格等は変更になることがありますので、詳細については、それぞれの試験案内で確認してください。

◎受験手続、その他の問い合わせ先

青森県警察本部警務課採用係 ☎017-723-4211（内線 2664～2666）  
又は県内各警察署

## 自動車税の納付をお早めに

平成23年度の自動車税の納期限は、6月30日（木）です。

自動車税は、下北地域県民局県税部窓口、金融機関のほか、お近くのコンビニエンスストアでも納付できます。

コンビニエンスストアでは、休日・夜間でも納付できますが、納期限を経過したときは取扱いできない場合がありますので、納期限を守って納付してください。

納税通知書に付いている納税証明書は、車検の際に必要となりますので、車検証と一緒に大切に保管してください。

なお、東日本大震災により被害を受けられた方に対して、自動車税の非課税や減免の措置が講じられています。詳しくは、下北地域県民局県税部までお問い合わせください。

問い合わせ先

『下北地域県民局県税部納税管理課』  
☎22-8581 内線210,211

## 子育てサークル「イッサ」

月2回、ママとベビーが集まってワイワイおしゃべり・お遊びしているサークルです。気軽に遊びに来ませんか？

もちろん参加無料！おもちゃもたくさんあります。

対象者：0才～保育園／幼稚園入園までのベビー&ママ

開催日：6月8日（水）  
6月22日（水）

時 間：午前10：00～12：00

場 所：開発センター2階（和室）

☎ 住民福祉課 保健師：藤巻

☎ 37-2111（内線21）

## 身体障害者相談員の紹介

篠崎 一夫 氏

大間町大字大間字大間平37-28

☎37-2322



身体障害者相談員は、青森県から委託を受けた民間の相談員です。

障害のある方・障害の可能性が考えられる方やそのご家族から福祉や医療などの様々な相談をお受けして、問題解決のための助言、相談を行っています。



# インフォメーション

## 選挙委員会からのお知らせ

**6月5日（日）は青森県知事選挙の投票日です。**

1票を投じることで県政に参加しましょう。  
当日、冠婚葬祭や外出等により町外に出かける方は期日前投票をご活用下さい。

### 期日前投票

6月4日（土）まで、毎日午前8時30分から午後8時まで行えますので役場までおいで下さい。

### 投票当日

6月5日は町内各投票所にて午前7時から午後8時まで投票ができます。投票所については入場券に記載されていますのでご確認ください。

## 大間町農業委員会委員選挙のお知らせ

大間町農業委員会委員一般選挙が**6月28日**告示、**7月3日**投票日で執行されます。  
選挙権を有する者及び被選挙権を有する者は次のとおりです。

要件	当該選挙の行われる農業委員会の区域内に住所を有し、10アール以上の農地につき耕作の業務を営む者。（同居の親族又はその配偶者は概ね耕作事業日数が60日以上に達すると農業委員会が認めた者）
* 選挙権は上記の要件を満たす、年齢が満20歳以上で平成23年3月31日の選挙人名簿確定の期日に登録されている者。（平成23年1月1日現在による選挙人名簿登録申請書を基に登録された者と職権により登録された者）	
* 被選挙権は選挙の期日「7月3日」に選挙権を有している者。（選挙期日の前日までに他の市町村に転出された方は、選挙権を失います。）	

### 立候補予定者説明会

農業委員会委員一般選挙の立候補予定者説明会を6月21日（火）午後3時から大間町役場分室会議室にて開催しますので立候補を予定されている方はご参集下さい。

詳しいことは、大間町選挙管理委員会（☎37-2111）までお問合せ下さい。

## 年金受給権者が死亡した時は

年金を受ける権利は、本人が死亡するとなくなりますので、年金を受けている方が亡くなったときは、「死亡届」の提出が必要です。この届出が遅れますと、年金を多く受け取り過ぎて、後で返さなければならなくなることもありますので、ご注意ください。

なお、亡くなられた方がまだ受け取っていない年金があるときは、生計を同じくしていた遺族の方からの請求によって、その年金が支払われます。請求できる遺族の範囲・順位は、年金を受けていた方の死亡当時、その方と生計を同じくしていた、配偶者・子・父母・孫・祖父母・兄弟姉妹です。

問むつ年金事務所国民年金課  
☎ 0175-22-2278

## 特設行政相談所を開設します

春の行政相談週間に伴い、大間町では特設行政相談所を下記の日程で開設します。

- 苦情を直接申し出にくい…
  - どこへ申し出て良いかわからない…
  - 苦情を申し出たが、その措置に納得できない…
- など、お気軽にご相談ください。

記

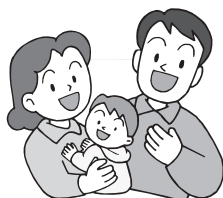
◆日 時 平成23年6月7日（火）  
9：30～14：30

◆場 所 大間町立公民館2階

◆相談担当者

- ・行政相談員：川端 亜喜男
- ・青森行政評価事務所相談官1名

ご家族のお子さんを広報に載せてみませんか。掲載を希望される方は、お気軽にお問い合わせください。



## 「わが家のめんど」を募集中

### ♨ 大間温泉 ♨

#### 海峡保養センター

■営業時間 午前9時～午後9時

☎37-4334

\*指定された駐車場に駐車してください。玄関前、ロータリー付近は駐車禁止となっております。

#### 養老センター

■営業時間 午前8時～午後9時

■今月の休館日 7日、14日、21日、28日

☎37-2411

\*指定された駐車場に駐車してください。

### 戸籍の窓

4月届出分

「戸籍の窓」には大間町に住民登録をしている人の出生、死亡、結婚について記載しますが、個人のプライバシーを尊重する意味で載せてほしくない人は届出の際に係に申し出てくださることをお願いいたします。

### わたしたちの町

平成23年4月末現在 ( ) 前月比



人口	男	女	世帯数
総数 6,296(+15)	3,241(+12)	3,055(+3)	2,590(+20)
大間 4,849(+12)	2,516(+14)	2,333(-2)	2,039(+16)
奥戸 1,260(+4)	629(-2)	631(+6)	481(+5)
材木 187(-1)	96(±0)	91(-1)	70(-1)



畑山優羽来 (秀晃) 新田 真桜 (甲介)  
筑田 暖羅 (誠)



南 勝助 87歳 小谷 博司 47歳  
矢越 紀昭 70歳 柳谷 春雄 81歳  
熊谷 幸枝 56歳 能戸 りせ 92歳  
小林 順一 62歳 湊谷 忠夫 86歳  
手塚ヤヨヒ 101歳

広報 **おおま** 第518号

発行日：2011年6月1日

発行：大間町 編集：企画経営課

〒039-4601 青森県下北郡大間町大字大間字大間104番地

☎(0175)37-2111 HPアドレス <http://www.town.ooma.lg.jp>

印刷所：青森コロニー印刷